

事務連絡  
平成25年10月31日

地方厚生（支）局医療課長  
都道府県民生主管部（局）  
国民健康保険主管課（部）長  
都道府県後期高齢者医療主管部（局）  
後期高齢者医療主管課（部）長

殿

厚生労働省保険局医療課

「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項  
について」等の一部改正について」の一部訂正について

平成25年9月30日付保医発0930第4号について、別紙のとおり訂正をするので、その  
取扱いに遺漏のないよう、周知徹底を図られたい。

訂正箇所

別添 1

「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」  
(平成24年3月5日保医発0305第1号)の一部改正について

- 5 別添 1 の第 2 章第10部第 1 節第10款 K 7 6 8 に次のように加える。
- (3) 体外衝撃波腎石破碎術を行った場合は、本区分の所定点数に準じて算定する。
  - (4) 体外衝撃波腎石破碎によっては所期の目的が達成できず、他の手術手技を行った場合の費用は、所定点数に含まれ別に算定できない。
  - (5) 体外衝撃波腎石破碎術の施設基準は、区分番号「K 7 6 8」体外衝撃波腎・尿管結石破碎術の施設基準に準じて、本通知別添様式 2 により提出すること。

(参考)

「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について(平成25年9月30日保医発0930第4号)の一部訂正について

(傍線の部分は訂正部分)

訂 正 後	現 行
<p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別添1</span></p> <p>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(平成24年3月5日保医発0305第1号)の一部改正について</p> <p>5 別添1の第2章第10部第1節第10款K768に次のように加える。</p> <p>(3) 体外衝撃波腓石破碎術を行った場合は、本区分の所定点数に準じて算定する。</p> <p>(4) 体外衝撃波腓石破碎によっては所期の目的が達成できず、他の手術手技を行った場合の費用は、所定点数に含まれ別に算定できない。</p> <p>(5) 体外衝撃波腓石破碎術の施設基準は、区分番号「K768」体外衝撃波腎・尿管結石破碎術の施設基準に準じて、本通知別添様式2により提出すること。</p> <p><u>(削除)</u></p>	<p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別添1</span></p> <p>「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(平成24年3月5日保医発0305第1号)の一部改正について</p> <p>5 別添1の第2章第10部第1節第10款K768に次のように加える。</p> <p>(3) 体外衝撃波腓石破碎術を行った場合は、本区分の所定点数に準じて算定する。</p> <p>(4) 体外衝撃波腓石破碎によっては所期の目的が達成できず、他の手術手技を行った場合の費用は、所定点数に含まれ別に算定できない。</p> <p>(5) 体外衝撃波腓石破碎術の施設基準は、区分番号「K768」体外衝撃波腎・尿管結石破碎術の施設基準に準じて、本通知別添様式2により提出すること。</p> <p><u>(6) 体外衝撃波腓石破碎術に当たって、消耗性電極を使用した場合は、区分番号「K938」体外衝撃波消耗性電極加算を算定することができる。</u></p>